

第3学年 日本語学級「ことわざ・故事成語」(オンライン授業)

トピックのねらい	○長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使うことができる。
日本語の目標	○教科書に示されていることわざの意味を理解することができる。
関連 教科・単元	国語科「ことわざ・故事成語」A
くらし・行事	
主な学習活動	① ことわざ・絵合わせゲームをする。 ② ことわざを使って文を書く。

教材・教具：Jamboard、スライド（教師） ホワイトボード（児童）

授業展開

時間	学習活動	指導のポイント 支援「○日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
1	1 ことわざ学習用の映像を見て、ことわざについて興味をもつ。	○ことわざについて興味をもたせるために、映像でいくつかのことわざを紹介する。	A
	いろいろなことわざの意味をおぼえて、文を書こう。		
	2 グループでことわざ・絵合わせゲームをする。 ・犬がかいてあるから、「犬も歩けばぼうに当たる」の絵だと思うよ。	○ことわざの意味を理解させるために、日本語で書かせたことわざと絵をペアにするゲームを行う。 ◇文のつながりを意識させるために、ことわざを2つの部分に分けて提示する。 ○できるだけ発言の機会を増やすために、グループでの活動にする。	A
	3 グループでことわざ・意味合わせゲームをする。 ・「山となる」だから、「大きなものになる」の意味と合っているね。	◇辞書で意味を調べる活動の代わりに、ことわざと意味をつなぐゲームを、Jamboardを使って行う。 ○できるだけ発言の機会を増やすために、グループでの活動にする。	A
	4 ことわざを使って、文を書く。 1今日は、しゅくだいがたくさんあるから、ねこの手もかりたいくらいいいそがしい。	○苦手な児童も取り組みやすいよう、例文を示す。 ○意味を確認しながら取り組むことができるよう、活動3で使用したJamboardを提示する。 ○他の児童の参考になるように、できた児童から書いた文を発表させる。	A
5 学習をふりかえる。	◇本時の学習を振り返ることができるよう、がんばったことやできるようになったことを発言する時間をとる。 *海外のことわざにも興味をもてるよう、フィリピンのことわざを紹介する。	A	

1

さるも

犬も歩けば

わかいときの苦勞(くろう)は

ちりもつもれば

善(ぜん)は

木から落ちる

ぼうに当たる

買って
もせよ

山と
なる

急げ



令和3年度 第3学年 日本語学級「ことわざ・故事成語」ふりかえり

児童の様子	<p>《日本語学級での様子》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入のことわざ紹介動画を見て、ことわざについて知らない児童もイメージをもつことができた。 ○Jamboard を活用し、絵とことわざをつなぎ合わせる活動を行ったことで、学習に積極的に取り組む姿が見られた。 ○全体を4グループの少人数に分けて活動を行ったことで、一人一人が発言する機会が増えた。ことわざとそれに合う絵のつながりを説明したり、ことわざの意味を予想して発言したりすることができた。 ▲聞きなれない言葉（おび、たすきなど）について、イメージがわからない児童がいた。 ▲ことわざと絵をあわせるときに、分かりにくいものについては間違っただままつなぎ合わせてしまったものもあった。 ▲ことわざを使って文を書く活動では、書けた児童と書けなかった児童がいて取り組みの差が見られた。（時間が足りなかったことも要因の一つ） <p>《在籍学級での様子》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○率先して学んだことわざの意味を発表したり、気に入ったフィリピンのことわざをクイズとして友達に紹介したりしていた。 	
	学習活動 案 日本語支援 時間目 について	成果
課題		<ul style="list-style-type: none"> △聞きなれない言葉（おび、たすきなど）について、イメージがわからない児童がいた。 →おびやたすきの画像を提示したり、使い方を説明したりするような支援が必要だった。 △ことわざを使って文を書く活動では、文を書けなかった児童もいた。 →文をつくるのが苦手な児童には穴埋め式の例文を提示するなど、児童の実態に合った支援が必要であった。また、活動時間が不十分でもあったので、それぞれの活動時間の配分を見直す必要がある。